

横浜市立四季の森小学校 平成30年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>○一人ひとりの思いや願いなどを丁寧に受け止め子どもに寄り添いながら、温かな人間関係を育てていきます。</p> <p>○家庭や地域・幼保小中と連携し、保護者がわが子を通わせたいと願い、子どもが心から明日も来たいと願う学校づくりを目指します。</p> <p>○問題解決学習に取り組み共に学ぶ楽しさを実感しながら基礎的な学力を身につけられるよう、授業力の向上を目指します。</p>	

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
健やかな体	児童の体力向上と自己の健康管理力を高め、健やかな体づくりを目指します。	① 学校保健委員会を中心に生活習慣等について発信し、健康についての意識を高める。 ② 学校便りや保健便り・学級指導を通して、児童の体力向上と自己健康管理能力を高める。 ③ 長縄やドッジボール大会など運動に親しむ機会を増やす。 ④ 給食指導に教職員の共通理解のもと取り組み、安心安全な給食を実施し食教育に取り組む。
担当	体育部保健部	

2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・運動する子としない子の2極化が本校でも目立つ。
- ・新体力テストの結果も全国や市平均に比べて低いものが多い。
- ・生活リズムがみだれている。睡眠不足や長時間のテレビ視聴やゲームが意欲の低下につながっている。

(2) 体育に対する児童の意識と分析 (平成28年度 体育科基本調査より)

<体育が「楽しい」と感じるときは、どんな時か>



<体育がもっと楽しくなるために、どうしたらよいと思うか>



- 横浜市の平均と比べると体育の勉強が好きな児童の割合が多い。「④力いっぱい活動できたこと」「⑦先生にほめられること」で体育を「楽しい」と感じている児童が多い。学年によって、技の通過率や体力、学習意識に差がある。
- もっと楽しくなるためには「①技や動きについて調べる」「⑧友達同士の教え合い」が必要だと感じている児童が多い。

3 体育・健康に関する具体的取組

＜四季の森小学校 体育・健康に関する指導の目標・方針＞

- ・授業を通して、できた喜び、仲間と運動する楽しさを味わえるような授業改善を考える。
- ・自分の心身に關心を持ち、自ら進んで健康な生活が送れるようにする。

教科

《体育科・保健体育科での取組》

- ・カリキュラムの見直しを通し、各領域の基礎基本を身につけさせたい。また、子どもたちが楽しく運動することができるように、各領域の運動の特性にふれられる場面を多く設定していく。
- ・保健学習では、課題解決的学習を通して、自分の生活をふり返り、実践できるようにする。

《他教科での取組》

- ・給食指導に教職員の共通理解のもと取り組み、安心安全な給食を実施し食教育に取り組む。

児童会活動等

- ・児童すこやか委員会では、なわとび大会やドッジボール大会等を企画・運営し、全校児童が楽しく運動できるようにする。
- ・学校保健委員会では児童の健康面での課題を明らかにし、児童・保護者・職員が共に課題に取り組んでいく。
- ・安全指導では、交通安全指導等を通し、自ら危険を回避できるようにする。

課外活動

- ・朝の時間、休み時間、放課後等を活用した外遊びの推進。
- ・年間を通した長なわとびの実践。
- ・給食後の歯みがきタイム。
- ・生活リズム表を活用して、家庭と協力しながら児童の生活を振り返り、改善できるようにする。
- ・体育健康に関する職員研修の充実。

平成30年度 四季の森小学校 体力向上1校1実践運動

- 《名称》 児童すこやか委員会の取組
- 《ねらい》 児童の体力向上と自己健康管理能力の向上
- 《内容》 体育的・保健的な取組をすこやか委員会（児童）が企画・運営し、内容と取組の充実を図り、運動の楽しさを味わわせ、体力の向上を図るとともに自己健康管理能力の向上を図る
前期：ドッジボール大会、第1回学校保健委員会
後期：なわとび大会、第2回学校保健委員会
- 指 標： ①取組後の振り返り 「事前取組」「満足度」等
②生活実態調査から検証する。